

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童療育センター ほのぼの園		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 25日		R8年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	R8年 2月 25日		R8年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内で20人定員と10人定員に分ける事で、子供の特性を理解し一人ひとりに合わせた支援を大切にしている	子ども一人ひとりの特性や発達段階を理解し、それぞれに合った支援を工夫している。職員間で情報共有を行い支援の統一を図っている	支援員間でのアイデア出しや、専門の先生との情報共有し保護者と方向性を考えていく
2	法人内に児童発達、放デイ、成人の施設があり交流する事が出来る	共同で行事を行い、保護者、兄弟も一緒に参加して楽しんで頂ける行事や療育等で子ども一人ひとりの個性や特性に合わせた取り組みを行っている	舞台での演奏・演技経験で、自己肯定感を高めていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内での連携不足でトラブルが起きる時がある	自分の事として捉えていなくてどこか人任せになりがちである	昼礼・終礼やミーティング等で確認しながら意識を高めていく
2	法人内の人数も多く、大規模になり時間の設定が難しい	プログラムの設定などが、時間のずれになってしまう時がある	施設同士で連携を取り、事業所の要望をしっかりと伝えていく
3			